

3類型	鉱工業品	番号	8-25-010
地域資源名	温泉水・温泉泥	認定日	平成25年10月16日
地域	大分県内全域	所管省庁	経済産業省

事業名：土産品等向け「湯の花素材」と加工品の開発、企画提案、販路開拓

会社名：株式会社みょうばん湯の里

所在地：大分県別府市大字鶴見1311番地の1

連絡先：TEL:0977-66-8166
FAX:0977-66-8421

H P: <http://www.yuno-hana.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

別府の湯の花は、大分県の温泉蒸気加工品の代表である。当事業は当社特許出願中の技術を活用して、湯の花を液状化等加工し、多用途素材として製造・販売することで、化粧品・ペット用品等多用途への応用を図り、入浴を含む多様な生活シーンでの別府温泉体験を促すものである。

【湯の花素材試作品】



【当社湯の花小屋遠景】



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

湯の花の製造設備である、湯の花小屋の大半を当社が所有しているため、天然湯の花の加工に取り組む事業者がほとんどいないなかで、当事業では特許出願中の技術を用いて、業務用湯の花素材を開発する。既存の湯の花に比べ、液状・ジェル状等形状が違い、溶解度が高く沈殿物が発生しない等の特徴があり、化粧品・ペット用品等への原料としての活用が可能になる。

◆市場性

平成27年にJR新大分駅ビルが開業し、JRグループが総力を挙げる日本最大の観光宣伝「デスティネーションキャンペーン」が、大分県を対象に展開される。当事業は、この時宜をとらえ、化粧品メーカー・企画会社等を中心に土産品等へ向けた、大分県ならではの素材の提供と企画提案を行う。当事業の中心となる化粧品市場は、天然かつ機能性を持った商品への志向が強く、医薬部外品としての湯の花が持つ効能を、業務用素材として活かすことができる。

◆販路

関連会社が運営する大分市等の雑貨販売店でテストマーケティングを行い、分析結果をもとに、製造業者へ提案を行う。液状のものは主に入浴剤、ジェル状のものは主に化粧品等、湯の花素材の形状によって提案先が異なるため、素材原料業者を窓口にして製造業者へ素材を販売する。

地域資源における関係事業者との連携

「別府明礬温泉湯の花製造技術」は、平成18年文化庁によって重要無形民俗文化財に指定された。当事業の実施によって、湯の花を増産し、湯の花職人などの地域雇用を生み出すとともに、文化財としての技術を保護する。また、当事業で生まれた幅広い利用用途の商品が全国に広がることで「温泉」の持つ力を紹介、大分県・別府市観光の浮上に貢献する。